



# 第19回 全国棚田(千枚田)サミット

人、まち、棚田 とともに未来へ

～伝えよう! まるる心・うけ継ごう! 豊かな恵み～

11/8(金) → 9(土)

## 【棚田で田植えが始まる】

今秋の豊作を願いながら5月の連休明けからはじまった田植えも一部の地域を残してほぼ完了しました。

町内では、水田が幾重にも重なり、心にやすらぎを与えてくれる景色が広がっています。棚田サミットで現地見学会が予定されている「あらぎ島」と「沼の棚田」、ここでも太陽に輝く棚田がいつもより増して一層輝いて見えます。

さて、4月上旬に開催された、サミット実行委員会では、分科会のパネラーが決定。サミット初

日に予定している基調講演では、世界的に有名な写真家 青柳健二氏をお招きし、『棚田は何故美しいのか(仮)』をテーマに『棚田の魅力』について講演いただく予定です。



毎年5月に開催されるあらぎ島での田植え体験  
(今年は参加者140名)

## 【沼の棚田「沼外記右衛門の功績・・・分水紹介」



溝普請(水路掃除)ですっきりきれいになった水路

町の北東部にある沼地区。南向きの斜面に開けた棚田は、古来から良質な米を生産してきました。

江戸時代には、用水が不足し水争いが絶えなかったようですが、約250年前(享保時代)に庄屋となった外記右衛門が水路の分水を考案、大小40もの水路に分水を設置し、以後水争いが無くなったそうです。

外記右衛門が造った用水路のひとつ「大湯溝」<sup>おおゆみぞ</sup>で、関係者による溝普請<sup>みぞぶしん</sup>が4月上旬に行われ、沼地区でボランティア活動を行っている和歌山大学観光学部「棚田ふあむ」のメンバーも参加、先人が築きあげた遺産を守るべく地域の方々と一体となった活動を行っています。

### 【問い合わせ先】

全国棚田(千枚田)サミット有田川町実行委員会事務局  
有田川町役場 清水行政局 産業振興室 産業班  
TEL (0737) 52-2111  
有田振興局 地域振興部 農地課 指導 G  
TEL (0737) 64-1265

サミット通信【Vol.5】